

2026年7月6日

各 位

テイカ株式会社

月刊「クリーンエネルギー」にて当社記事が掲載

日本工業出版株式会社が発行する技術雑誌、月刊「クリーンエネルギー」より依頼を受けて Daigas エナジー株式会社と当社の共同で寄稿した記事が、2026年7月号に掲載されました。

1. 寄稿記事タイトル

石炭発電設備の老朽化更新に伴う、環境性・省エネ性が高いガスタービンコージェネレーションシステムの導入

2. 寄稿記事内容

テイカ株式会社岡山工場における老朽化した石炭焚きボイラータービンシステムをLNGサテライト方式のガスタービンコージェネレーションに更新し、CO₂削減、省エネ、BCP強化を同時に実現した事例を紹介

3. 日本工業出版「クリーンエネルギー」2026年7月号

https://www.nikko-pb.co.jp/products/detail.php?product_id=6197

<ご参考（2月6日発表資料抜粋）>

テイカ株式会社（以下、当社）は、一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センター（以下、コージェネ財団）が主催する「コージェネ大賞2025」に、Daigas エナジー株式会社と共同で応募し、産業用部門において「優秀賞」を受賞しました。

当社岡山工場では、脱炭素社会の実現に向けて、従来の石炭焚きボイラータービンシステムを、LNGを使用したガスタービンコージェネに更新するとともに、高温・低温・冷熱を最大限に活用できるように設計し、熱源エネルギーを最大限に活用できるシステムに変更しました。また、非常時には重要負荷へ給電を継続できるシステムとし、電源のセキュリティーを高めました。今回、燃料転換と新たなシステム導入によるCO₂排出量の削減、維持管理コストの削減を実現したことが評価されました。

今後も当社は、全事業活動を通じて環境保全に取り組んでまいります。



岡山工場 外観



LNG サテライト設備 外観



表彰式の様子

<受賞内容の概要>

案件名	石炭発電からの燃料転換に伴い、環境性や省エネ性が高いエネルギーシステムの構築 ～テイカ岡山工場への導入事例～
受賞者	テイカ株式会社 Daigas エナジー株式会社
主な特長	① ガスタービンの排熱ボイラー後段に2段エコノマイザーを設置することにより、排熱を最大限に活用 ② LNGの気化による冷熱を、ガスタービンの吸気冷却に利用 ③ ガスタービン用ガスコンプレッサーの補機動力削減のため、LNGポンプを採用 ④ 排熱回収やドレン回収により、コスト削減 ⑤ 異なるメーカーや原動機での発電機自立並列運転を実現 ⑥ BCP対応の観点から、停電が発生した際も自立給電が可能な設計を実現 ⑦ 近隣住民との共存のための安全性向上および騒音対策

※コージェネ大賞の概要は、[コージェネ財団のホームページ](#)をご参照願います。

以上